

# Discovery H. S. Kanzaki

2019. 1. 23  
第416号  
兵庫県立神崎高等学校  
TEL 0790-32-0209



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校

## 峰山高原で 雪遊び

1月19日(土)に、神河町教育委員会主催の「かみかわおもしろ体験塾」が行われ、吹奏楽部員12名が補助員として参加しました。

神河町内の小学生16名とともに峰山高原リゾートホワイトピークに向かい、そり滑りをしたり雪合戦をしたりと、雪遊びに楽しみました。

小学生が安全に活動できるように、手をつないでリフトを降りたり、「スピード落として」と声をかけてそりを押さえたりまする姿が見られました。



午後になると緊張が解けてきたのか子どもたちの会話も弾み、そりを引っ張り合って笑顔で活動していました。

日頃小学生とふれ合う機会の少ない生徒にとつて、周りの状況を見て臨機応変に行動したり、小さな子にも分かるような声かけを考えたり、貴重な時間となりました。

## 震災追悼行事

平成7年1月17日午前5時46分に阪神・淡路大震災が発生し、多数の犠牲者と未曾有の被害をもたらしました。24年目に当たり、本校においても、午後2時40分から震災追悼行事を行いました。

まず、その犠牲となられた方々のご冥福をお祈りして、職員及び全校生徒が黙祷を捧げました。

次に、校長先生より大震災がもたらした被害の惨状、震災の経験を教訓として語り継ぐこと、また近い将来起こりうる巨大地震への備えと自助・

共助の必要性について話していただきました。

追悼行事終了後、各HR教室で、防災教育副読本『明日に生きる』から抜粋した阪神・淡路大震災の体験談を読み、ともに担任の先生の震災に関する話を聞きました。

生徒たちがこの大震災の経験と教訓を風化させることなく、次世代に継承してくれることを願っています。



## 消費者啓発講座

1月17日(木)6時間目に高校生消費者啓発講座を3年生対象に行いました。講師の先生には中播磨県民センター県民交流室県民課(消費者セン



ター)から丸山明夫様にお越しいただきました。生徒たちは、「契約」が成立する条件についてロールプレイングを通して理解しました。その上で、クーリング・オフの基礎知識を学びました。また、クレジット契約による多重債務についても、具体的な数字を出して説明していただきました。2組の松原優太郎くんは、「二十歳になると、自分で契約ができるので、よく考えて契約したいと思いましたが、将来、絶対に必要となる知識なので今日の授業を覚えておきます。」と感想を述べていました。卒業を前に、3年生にとって大切な講座になりました。

**ちょっと一言** ◇吹奏楽部の12名のみなさんありがとうございます。喜ぶ小学生たちの笑顔の横で、皆さんがはにかみながら笑う姿が浮かびます。また、3年生の「将来、絶対に必要となる知識なので今日の授業を覚えておきます」という感想を読んで、高校で学んだことが将来必要となると、生徒たちに思ってもらえるように、私たち教員も日々成長しなければならぬと思いました。これからも、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。(N. A.)